

被災地・浦安から生まれた、家族の絆と再生の物語。

〔第7回ウラジオストク・ビエンナーレ オープニング招待作品〕〔第24回東京国際映画祭 特別招待作品〕

それは、家族をつなぐ旋律。

浦安市市制30周年記念

カルテット!

Quartet!

高杉真宙 剛力彩芽 鶴田真由 細川茂樹

田中美里 サンブラザ中野くん 東 幹久 / 秋山和慶(特別出演) 山根一仁(特別出演) / 上條恒彦 由紀さおり

監督:三村順一 原作:鬼塚 忠「カルテット!」(河出書房新社) 脚本:鬼塚 忠 三村順一 音楽:渡辺俊幸 主題歌:mihimaru GT「One Time」(ユニバーサル)

エグゼクティブプロデューサー:柳内光子 プロデューサー:竹村友里 冨田暎希 飯沼伴光 配給総括:大角 正 企画アドバイザー:池田史朗 協力プロデューサー:大塚和雄 平川修治 宮澤君子 音楽プロデューサー:今藤康夫 アニメーションプロデューサー:大迫史門

撮影:岡田次雄 照明:岩崎 豊 録音:星 一郎 美術:山崎 輝 編集:金子尚樹 スクリプター:今村治子 助監督:松岡孝典 制作担当:坂井茂樹 製作:浦安観光コンベンション協会 クラドライブ 草庵学園 「カルテット!」プロジェクト/DIC 製作/シンズパイ 草花保育専門学校 山一興業 フビト 藤心建設興業 平成建設工業

制作/クラドライブ 制作協力:SLピクチャーズ フィルムクラブ ベルカントジャパン 浦安工会議所 後援:浦安市 配給:松竹

www.quartet-movie.jp



大切な想いが響き合う—— クラシックの調べに乗せ、この冬最高の感動を届けます



www.quartet-movie.jp

震災からの復興を願う市民の情熱が映画を生み出した!

千葉県・浦安市。東京ディズニーリゾートがあるこの地区は、市になって平成23年度に30周年を迎えました。その記念として市民が一丸となって制作した映画、それが『カルテット!』です。ロケのほとんどを浦安市で行うため、様々な撮影準備を進めていたさ中に東日本大震災が発生、浦安市はこれにより市域の86%が液状化被害を受けました。本作も制作が危ぶまれましたが、被災された市民を含め700人以上がエキストラとして参加して下さるなど、多くの人々の復興を願う気持ちが映画に息を吹き込み、本年、ようやく完成を迎えました。映画本来がもつ、逆境に負けずに明日を夢見るハートウォーミングな物語もさることながら、たくさんの人々の大きな愛に包まれた映画です。



家族カルテットを結成して、もう一度絆を取り戻したい!

永江開は、将来を有望視されたバイオリンの才能を持つ少年。音大出身の両親、高校生の姉と千葉県浦安市で暮らしている。家族でクラシックを演奏する音楽一家だったが、両親は生活の為に音楽を諦め、姉は才能のある弟にコンプレックスを持ち、すっかりドロップアウト気味。更に父親がリストラに合い、皆の気持ちもバラバラになり、一家は崩壊寸前に…。みんなで笑い合っていたあの頃に戻りたい! そう願った開は、家族カルテットを結成すべく奮闘しますが…。

音楽で家族の絆を取り戻そうとする永江開役に、300人のオーディションを勝ち抜き、これが映画初主演となる新人、高杉真宙。父は細川茂樹、母に鶴田真由。そして姉の美咲役には、TVドラマ「IS～男でも女でもない性～」で主役を務め、今最も注目を集めている新星、剛力彩芽がキャストイングされました。更に田中美里、東幹久、上條恒彦、由紀さおりなど、豪華キャストが勢ぞろいしています。主題歌はmihimaru GTが新曲「One Time」を提供。感動のラストを爽やかに演出し、希望に満ちた余韻をもたらしています。

映画を彩るクラシックの名曲の数々!そして世界的指揮者、秋山和慶氏も特別出演!!

本作を語る上でクラシックは外せません。マスネ「タイスの瞑想曲」、バッハ「G線上のアリア」、プッチーニ「誰も寝てはならぬ」、サン＝サーンス「白鳥」などなど、どこかで耳にしたことのある数多くの名曲が映画を彩ります。更に、日本を代表する指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者の秋山和慶氏が特別出演しているほか、新進音楽家の登竜門である第79回日本音楽コンクールバイオリン部門に出場し、中学3年生で1位となった山根一仁氏も本作に出演、チャイコフスキー「バイオリン協奏曲」を披露したことも話題の一つです。



1月7日(土) 全国ロードショー!